

# 令和6年度第1回習志野市市民参加型補助金審査委員会議事録

1 開催日時 令和6年4月13日(土)午前9時40分～11時20分

2 開催場所 市役所3階大会議室

3 出席者

【委員長】松井 秀明

【委員】齊藤 恵子 鍋嶋 洋子 高岡 明美 林 孝治 廣瀬 淳一

【事務局】協働経済部 部長 根本 勇一

次長 小倉 一美

協働政策課 課長 中野 充

係長 柴野 夕子

主任主事 田村 大輔

【発表】4団体7人

【傍聴者】2人

【関係課】4人

4 会議内容

第1 会議録の作成等

第2 会議録署名委員の指名

第3 審査 (1)令和5年度習志野市市民参加型補助金実績報告について

5 会議資料 令和6年度第1回習志野市市民参加型補助金審査委員会に関する資料(別添)

会議次第

資料1 習志野市市民参加型補助金審査委員会スケジュール

資料2 令和5年度 市民参加型補助金申請事業一覧

参考 ・習志野市市民参加型補助金審査委員会設置要領

・習志野市市民参加型補助金審査委員会委員名簿

6 会議内容

第1 会議録の作成等

要点筆記とする。

第2 会議録署名委員の指名

齊藤委員、鍋嶋委員

第3 報告 (1)令和5年度習志野市市民参加型補助金実績報告について

【中野協働政策課長】

資料1、資料2について説明。

【鍋嶋委員】

関係課評価は団体へフィードバックしているのか伺う。

【柴野市民協働推進係長】

関係課評価は審査委員が二次審査を行うにあたり、事業関係課の視点を委員が審査時の参考とするための資料である。団体へフィードバックはしていない。

【根本協働経済部長】

関係課評価の内容をぜひ二次審査の質疑応答時に委員の皆さんに質問をしていただきたい。

【NPO 法人おりがみ】

申請事業について説明。

【鍋嶋委員】

障がいのあるお子さんたちにとってはよい機会、よい場であったと思う。企画提案書には初年度は単発で実施予定となっているが、令和6年度は障がいのある方に限らず、地域コミュニティのなかで交流する場を継続していく予定はないのか伺う。

【NPO 法人おりがみ】

イベントを通じて、市内公民館との関係性を構築できたので、生かしていきたい。また、令和6年度の市民参加型補助金事業「習志野市地域わかもの会議“ちいわか”」にも卓球バレーのノウハウを発展させて活用していきたい。

【高岡委員】

卓球バレーという多世代がコミュニケーションを図る、楽しめるすばらしいツールを手にしたので、ぜひ卓球バレーを広めてほしい。

【松井委員長】

参加者アンケートに同世代の人と一緒に楽しめることができてよかったという意見があった。障がいのある人にとっては、同世代の人と一緒に楽しめるよい取り組みであったと思う。

【earth FUNTRY!】

申請事業について説明。

【鍋嶋委員】

子どもたち自身がSDGsについて考え、行動に移すという視点がすごいと思う。子どもの参加が非常に多い。市内全校にチラシを配布したようだが、子どもの参加が多い理由について伺う。

【earth FUNTRY!】

①子どもが参加しているイベントに参加しチラシを配布。②学校へのチラシ配布依頼の際は活動に対する思いや事業について説明し理解・協力を求めた。③地域団体の協力も得て、地域団体主催のイベントでチラシを配布。④SNSの活用。⑤当団体には子ども会員もいることから、子どもと一緒にチラシを配布、子どもからの情報発信により、子どもに楽しいと思ってもらえるよう心掛けた。

【鍋嶋委員】

協働政策課はもちろん、教育委員会・クリーン推進課とこれから一緒に取り組める調整はしていないのか伺う。

【earth FUNTRY!】

ごみ拾いの際にはトング等を借用している。クリーンセンターの見学を通して燃えるごみの半分が雑紙であることを知ったが、雑紙を資源ごみとして集積所に出している人はほとんどいない。分別について周知が行き届いていない。昨年度ではあるが、クリーンセンタークリーン推進課から当団体と雑紙について、何か一緒に取り組めることができないかという提案をいただいている。

【松井委員長】

事業を継続していくために、イベントを有料にする等の取り組みをしているが、会員の確保が課題だと思うのだが、会員が増えると活動がしづらくなってしまふ、少人数のほうがよい等、会員の確保につ

いて考えていることはあるのか伺う。

【earth FUNTRY!】

イベントのサポートスタッフは多いほうがよいと思っているのでメンバーを増やしていきたい。しかし、イベントが多ければ多いほど、広報周知や各種申請手続き・実績報告などの事務手続きが増えてしまうことから、事務手続きを行うコアメンバー（運営メンバー）が増えるとよいと思っている。メンバーの多くはまだ子どもが小さいので、事務手続きを担うコアメンバーとして活動できない。しばらく中心メンバーが頑張るしかないと思っている。メンバーは増えたが、いまのところ意思決定について問題は生じていない。提案に対する肯定的な意見やサポートしたいというメンバーもあり、団体内で対立もなく、バランスがとれていると思っている。

【習志野市 e-sports 協会】

申請事業について説明。

【齊藤委員】

市民活動応援フェアにおいて、民間企業との協働があったが、どのようなものか伺う。

【習志野市 e-sports 協会】

参加人数は少なかったのだが、脳波測定キャップ・耳たぶに器具をつけ、e-sportsを体験するものであった。右脳型・左脳型、どちらも使えているのか等、数値化できる。民間企業のものでプレ段階のものではある。体験者からは簡単に脳波測定ができ、おもしろい・貴重な体験であったとの意見をいただいた。引き続き企業との協働も検討していきたい。

【鍋嶋委員】

想定以上の参加があったとのこと。ニーズに対応していくためにも地域でのサポートが必要となると思うが、会員だけで対応できるのか伺う。

【習志野市 e-sports 協会】

反響が多く、マンパワーが追い付かないところはある。機器の貸し出しも行っているのだが、数回実施した地域では、セッティング等ができるようになってきている。リピート地域では核となるメンバーが出てくるのではないかと思う。未実施地域については団体が中心となってフォローしていく。世代間交流の際などに仲間や地域の協力者が増えるよう引き続き努めていく。

【きらっといっぽの会】

申請事業について説明。

【松井委員長】

お話サロン1回あたりの参加人数について伺う。

【きらっといっぽの会】

7回実施、各回 2~3 名である。6名参加の回もあったが、2~3名のほうがじっくりと話ができた。たくさん話ができてよかったと思っていただけた。今後も事業を継続していく。口コミ等で参加者が増えていけばよいと思っている。

【松井委員長】

はじめは参加しにくいものである。アウトリーチのかたちでの交流事業の継続を期待している。

# 令和6年度第2回習志野市市民参加型補助金審査委員会議事録

開催日時 令和7年3月8日(土)午前9時15分～10時20分

2 開催場所 市役所3階大会議室

3 出席者

【委員長】松井 秀明

【副委員長】田島 則行

【委員】齊藤 恵子

鍋嶋 洋子

高岡 明美

原田 真一郎

廣瀬 淳一

【事務局】協働経済部 部長 根本 勇一

次長 小倉 一美

協働政策課 課長 中野 充

係長 柴野 夕子

主任主事 田村 大輔

【発表】2団体2人

【傍聴者】0人

【関係課】1人

4 会議内容

第1 会議録の作成等

第2 会議録署名委員の指名

第3 審査 (1) 令和7年度習志野市市民参加型補助金二次審査について

5 会議資料 令和6年度第2回習志野市市民参加型補助金審査委員会に関する資料

※別添資料

会議次第

資料1 習志野市市民参加型補助金審査委員会スケジュール

資料2 令和7年度習志野市市民参加型補助金 申請事業一覧

資料3 令和7年度習志野市市民参加型補助金の採点について

資料4 市民参加型補助金 二次審査採点票【記入例】

参考 ・習志野市市民参加型補助金審査委員会設置要領

・習志野市市民参加型補助金審査委員会委員名簿

## 6 会議内容

### 第1 会議録の作成等

要点筆記とする。

### 第2 会議録署名委員の指名

齊藤委員、鍋嶋委員

### 第3 審査 (1) 令和7年度習志野市市民参加型補助金二次審査について

【中野協働政策課長】

資料1、資料2、資料3、資料4について説明。

※質疑なし

【earth FUNTRY!】

申請事業について説明。

【高岡委員】

オンラインコミュニティの参加見込み等について伺う。

【earth FUNTRY!】

SNS を活用、周知予定。オンラインコミュニティの会費収入は7万円を見込んでいる。

【鍋嶋委員】

大人2,000円のチケット販売はハードルが高いと思う。お子さんが出演すれば保護者も観に行くことは考えられるが、出演人数はどのくらいを想定しているのか。

【earth FUNTRY!】

出演者はプロが10人、市民参加は6人を予定している。

参加希望の声が多いので、これからどのようなかたちで参加していただくのか検討していく。

【田島副委員長】

プラッツ習志野は使用料が必要なのか。

【earth FUNTRY!】

市民ホール使用料は必要である。

【田島副委員長】

使用料のリスクはそれほど高くはないが、チケット販売はハードルが高いのではないかと。

プロの公演であれば2,000円は安いと感じるが、市民参加者が2,000円と考えると高い気がする。

参加することに対して意味を持たせるほうがよいのではないかと。

集客率が5割程度でも問題がないような事業の実施が望ましい。団体の知名度をあげることで、子どもが参加できる場をたくさん提供する、地域に活動を根付かせる方向で事業をすすめてほしい。

【earth FUNTRY!】

市民ホール使用料は必要である。

公民館などでの活動も大切にしていけるが、ぜひプラッツ習志野でのミュージカル公演も実施したい。

活動を継続するために、バランスをとりながら事業をすすめていきたい。

【NPO 法人おりがみ】

申請事業について説明。

【廣瀬委員】

令和6年度は東習志野・実籾地域で事業を展開したが、令和7年度はどのような地域、どのような内容で実施するのか伺う。

【NPO 法人おりがみ】

課題も見えてきたので、来年度も二中・四中で実施したいと考えている。

身に着けたノウハウを生かし、さらに市内へ広げていくことを見据えている。

【鍋嶋委員】

ワークショップの内容はイベントの検討になってしまっている。地域のことを話し合う視点もぜひ入れてほしい。

【NPO 法人おりがみ】

当団体では、地域に若者が関わることに注目している。結果として、地域イベントを選択することになるのかもしれない。

若者と地域住民の対話の中で、どのような課題、どのような事業にチャレンジするのかを決定している。結果として、地域イベントを選択することになるかもしれないが、地域に若者が関わるのが重要であると考えている。

長期的に取り組む中で、地域課題に取り組むこと、“ちいわか”の活動を通して出会った人たちが独自に展開していく可能性もあり得る。課題というよりも中高生のやりたいことを、どのようにしたら地域のなかで実現できるのか、地域の人に知恵をだしてもらい、連携していければと思う。

【鍋嶋委員】

中高生が主体的に参画する場を作りたいというメッセージは十分伝わった。

【田島副委員長】

ワークショップを通して、若者が思いついたことを実現させるということでのよいのか伺う。

【NPO 法人おりがみ】

中高生のやりたいことを大学生が引き出し、かたちにする。そして、地域の人と一緒に地域の中で実現させていくというものである。

【松井委員長】

どのような事業になるのかとても楽しみである。頑張っていたきたい。

【高岡委員】

中高生が地域に居場所を持つ、住民が中高生とかかわりを持つということは大事なことである。中高生が地域に思い出を作り、地域を活性化させることを期待している。